

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 N 35° 46' 23.6"	経度 E 137° 55' 42.6"	
上片桐第二橋 (フリガナ)カミカタギリダイニキョウ	町道丈源田線	長野県下伊那郡松川町上片桐 大沢南部地籍				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
松川町	2016.11.09	中央自動車道	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	点検責任者			安藤 真司
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	II	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	写真1、主桁01			
	横桁						
	床版	II	剥離・鉄筋露出	写真2、床版01			
下部構造	II	剥離・鉄筋露出	写真3、柱部・壁部01				
支承部							
その他	II	剥離・鉄筋露出	写真4、高欄02				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	主桁側面にひびわれや、床版下面や橋脚に剥離・鉄筋露出等が見られる。予防保全の観点から、速やかに補修する必要がある。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1974年	39.34m	6.50m

起点



終点



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p> 
<p style="text-align: center;">下部構造【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p> 	<p style="text-align: center;">その他(高欄)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p> 